

# 外国人材の受入れ・共生を支える教員等養成・研修プログラム キックオフシンポジウム

今、熊本では、世界的半導体企業 TSMC の進出を機に、外国人材の受入れ・共生を促進する上で重要な鍵となる外国につながる児童生徒の教育の充実が急務となっています。

しかし、外国につながる児童生徒の学習支援や生活支援についての知識・技能を有する人材が不足しているため、熊本大学大学院教育学研究科では、熊本県・市教育委員会や NPO 等と連携し、外国につながる児童生徒の教育を担う教員等の養成・研修の体制を整備することとしました。

本シンポジウムでは、この新たな取組を紹介するとともに、本年度パイロット実施する教職大学院における短期（履修証明）プログラムの一部を公開します。

日時 令和5年(2023年)9月30日(土) 13時30分~16時30分

会場 市民会館シアーズホーム夢ホール  
(熊本市会館) 大会議室

参加費 無料 (コロナに配慮した定員100名)

申込方法 9月15日(金)までに下のQRコードにより参加申込をお願いします。



## プログラム

基調講演 外国につながる児童生徒の教育と教員養成における「豆の木モデル」

講師 東京学芸大学 教授 齋藤 ひろみ 氏



シンポジウム 熊本における外国につながる児童生徒の教育の充実のために

パネリスト 熊本県教育委員会 義務教育課  
英語・日本語教育推進室長 松永 尚子 氏

熊本市立桜山中学校 校長 田口 恵子 氏

同 日本語指導担当 宮永 直子 氏

熊本大学大学院教育学研究科 教授 藤中 隆久 (教職大学院専攻長)

ファシリテーター 同 教授 山城 千秋 (教育実践センター長)

アドバイザー 東京学芸大学 教授 齋藤 ひろみ 氏



総司会 熊本大学大学院教育学研究科 教授 八幡 彩子 (教職大学院副専攻長)

主催 熊本大学大学院教育学研究科 後援 熊本県教育委員会・熊本市教育委員会

お問い合わせ：熊本大学教育研究支援部 人社・教育系事務課  
教育学事務チーム (教務担当) 電話 096-342-2526

参加申込はこちらから



## 講師 齋藤ひろみ氏のプロフィール

東京学芸大学教職大学院教育実践創生講座教授。公益社団法人日本語教育学会前会長。

小・中学校教諭として教壇に立ったのち、中国での生活を経験。帰国後、民間の日本語学校において日本語教師、中国帰国者定着促進センターにおいて小中学生対象の日本語教育に取り組む。東京学芸大学国際教育センターにて、国内の外国人児童生徒の教育に関する研究・調査活動を本格化、同大学教育学部では、教員養成課程や現職教員対象の研修で「多文化教員」の育成・養成に取り組む。文化間移動をする子どもたちのライフコースを伴走するような教育・支援のあり方に関心をもち研究を続ける。

著書として、齋藤ひろみ編著『外国人の子どもへの学習支援』（金子書房、2022）、齋藤ひろみ監修『6カ国語のわくわく絵ずかん学校のことば 南北アメリカ・ヨーロッパ編 / アジア編』（ほるぷ出版2022）、齋藤ひろみ・池上摩希子・近田由紀子『外国人児童生徒の学びを創る授業実践―「ことばと教科の力」を育む浜松の取り組み』（凡人社、2015年）、齋藤ひろみ・今澤悌・花島健司・内田紀子『外国人児童生徒のための支援ガイドブック―子どもたちのライフコースによりそって』（凡人社、2011年）、齋藤ひろみ・佐藤郡衛『文化間移動をする子どもの学び―教育コミュニティの創造に向けて』（ひつじ書房、2009年）など多数。

参考：齋藤ひろみ研究室ホームページ

<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~shiromi/profile.html>

## 「豆の木モデル」とは

公益社団法人日本語教育学会が、文部科学省から委託を受け実施した「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業」（2017～2019年度）の成果を踏まえて構築・提唱した、外国人児童生徒等の教育を担う教員等（教員および支援員）の資質・能力に関するモデル。そこには「求められる具体的な力」と「養成・研修の内容構成」等が示されている（右図参照）。

齋藤ひろみ氏は、同学会文部科学省委託事業成果活用委員会委員長として、このモデルプログラムの開発に携わった。

本年9月から熊本大学教職大学院がパイロット実施する短期（履修証明）プログラムのカリキュラムを作成する際にも、同委員会による『「モデルプログラム」ガイドブック』（2019）を参考にさせていただいた。



参考：KNiT knot-net Web ページ

<https://mo-mo-pro.com/>

（出典：『「モデルプログラム」ガイドブック』表紙より）

# 熊本大学大学院教育学研究科 履修証明プログラム（教職大学院）

## 外国人材の受入れ・共生を支える教員等養成・研修プログラム

# 令和5年度 受講生募集

**受講開始：令和5年9月から**  
**募集期間：令和5年8月1日～9月10日**  
**受講期間：令和5年9月～令和6年9月（全60時間）**  
**募集人数：20名程度**  
**対象者：（履修資格）学校教員 および教員免許保有者**  
**受講費用：無料**  
**応募方法：熊本大学教育学部・教育学研究科ホームページ専用フォームから  
応募をお願いします。**

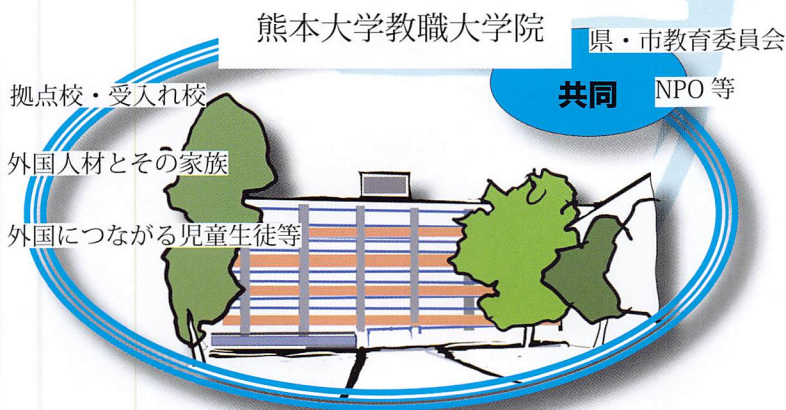
（ご案内）

今、熊本では、世界的半導体企業 TSMC の進出を機に、外国人材の受入れ・共生の促進が求められています。  
令和5年度、熊本大学教職大学院では、文部科学省 令和4年度「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」の採択を得て、履修証明プログラムによる「外国につながる児童生徒の教育を担う教員等の養成・研修」を開始することとなりました。  
本プログラムでは、外国につながる児童生徒の教育を理解し、日本語指導の担当教員や支援員、保護者や地域等と連携し、多文化共生の視点をもって、良好な学校・学級作り、子ども同士の関係づくりに貢献できる教員等の養成を目指しています。  
本プログラム60時間の修了者には履修証明書が発行され、外国につながる児童生徒の学習支援・生活支援についての知識・技能を有する教員等として、教育現場での活躍が期待されます。  
多くの皆様の受講をお待ちしております。

プログラムを通じて、以下のような人材（教員等）を養成します

- ◇外国につながる児童生徒を深く理解する人材
- ◇外国につながる児童生徒の教育に専門性を発揮できる人材
- ◇多文化共生の視点を有し、学校・学級作り、地域作りに貢献できる人材

※本プログラムは、(財)日本語教育学会が開発した「豆の木モデル」を参考に、熊本大学教職大学院、附属学校、熊本県・市教育委員会、熊本市の日本語教育拠点校等が共同で開発したものです。



（授業内容）

- 外国につながる児童生徒の教育Ⅰ～Ⅳ  
（各授業科目・1単位 90分×8回）
- 教育実践研究（1単位 12時間・事前事後指導を含む）  
日本語教育拠点校等における観察実習を予定  
※令和5年度は、開講式・シンポジウムを9月30日に熊本市民会館で実施予定。  
1科目から受講できます。詳しくはホームページをご覧ください。

熊本大学大学院教育学研究科  
人社・教育系事務課教育学事務チーム教務担当  
〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-40-1  
TEL 096-342-2522  
FAX 096-342-2520  
E-mail kyo-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp

<QR申請>

